

放課後等デイサービス キッズボンド海津 自己評価表

調査期間：令和4年 12月 ～ 令和5年 1月 回答職員数： 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4	0	運動活動をするには、少し狭いように感じる。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2	0	人員配置に基づき適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	3	完全バリアフリー化はなされていない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2	0	受け入れ前ミーティングを行ったり、職員会を行ったりすることで職員間での情報共有をしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2	0	評価表だけでなく、事業所と保護者が日頃から連絡をとれるようにして、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0	ホームページで公開をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	1	相談支援専門員の意見を取り入れることで業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	0	随時、内部研修や外部研修に参加し、内容を共有している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	0	時間をかけて情報共有を行い、相談支援専門員と連携し、支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	0	ASISTやVineland- II を用いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	職員会等で話し合いを行い決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	固定化してしまわないように様々な活動を取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	0	平日と学校休業日では支援内容を変えて活動を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	子どもの様子に応じて計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	0	受け入れ前ミーティングを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	0	1日で気づいたことを話し合い今後の支援に活かせるようにしている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	毎日、必ず記録するようにしている。それを基に支援の改善を図れるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2	0	原則、半年に1度モニタリングを行い、必要に応じて計画を見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	2	0	固定化してしまわないように色々なものを組み合わせさせて支援をしている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3	0	会議に参加をし、情報共有をしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	3	0	学校とは、送迎時や、電話、連携会議等で子どもに関する情報共有を行うようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3	0	現在は、医療的ケアを必要とする児童は通所していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	0	児童発達支援事業所とは、情報共有をするように努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	0	現在、対象児はいないが、そのような場合は情報提供をしていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	0	積極的に研修を受けるようにしているが、今後さらに増やせるようにしたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	1	現在のところ、機会がないので計画をして交流の機会をもちたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	1	自立支援協議会が機能していない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2	0	送迎時やLINE、電話などで常日頃から子どもに対しての情報共有を行うことで共通理解をもつようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	7	0	これから積極的に行っていきたい。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2	0	契約時に説明をして同意を得ている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	0	事業所内で相談に応じる時間を設けている。時には家庭訪問も行い助言をしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	3	0	コロナ禍のため実施が先送りになってしまっている。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2	0	苦情があった場合は、まず保護者の話を聞き、その後、職員に事実確認を行う。速やかな対応を心がけている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2	0	月に1回通信を配布している。同時に活動予定表を配布し、その月の活動内容を知れるようにしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6	1	0	書類は鍵付きの書庫で保管している。HP上の写真は保護者に承諾を得た後、個人が特定できないようモザイク処理をしてからのせるように徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2	0	視覚化や簡略な言葉で伝えるようにしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	1	清掃活動や農作業体験等で交流を図っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	0	マニュアルを作成して、職員・保護者に周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2	0	月に1回、第1月曜日に避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	0	外部研修、内部研修等に参加をし、虐待防止に関する知識を深めている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	身体拘束を行う場合は、事前に説明を行った後に同意を得ている。また、支援計画書に記載するようにしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	6	1	医師の指示書がないため、対応できるようにしていきたい。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2	0	グループ内で共有している。